

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日:2022年6月10日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部／政治学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ニューヨーク州立大学ニューパルツ校 現地言語: 英語
留学期間	2021年8月～2022年5月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年5月21日
明治大学卒業予定年	2023年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期: 2学期:8月中旬～5月下旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	8000
創立年	1828

留学費用項目	現地通貨 (米ドル)	円	備考
授業料	0	0円	交換留学のため
宿舍費	10,000	100万円	
食費	5,000	50万円	
図書費	200	2万円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費		円	
現地交通費		円	( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		30万円	長期休みの時の宿代
被服費		円	
医療費		円	
保険費		15万円	形態:明治の海外留学保険
渡航旅費		40万円	
ビザ申請費		円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
<b>合計</b>		<b>237万円</b>	

## 渡航関連

<b>渡航経路</b>
往路 出発地:羽田 目的地:JFK 経由地: 復路 出発地:JFK 目的地:羽田 経由地:
<b>渡航費用</b>
①往復チケットを購入した場合 航空会社: _____ 料金: _____ ②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:ANA 料金:25 万 復路 航空会社:JAL 料金:15 万 ∴合計:40 万円
<b>航空券購入方法</b>
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: _____) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: _____) <input type="checkbox"/> その他(_____)

## 滞在形態関連

<b>1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)</b>
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: Ashokan Hall) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
<b>2)部屋の形態</b>
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 6 人)
<b>3)共有部分</b>
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン( <input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
<b>4)住居を探した方法:</b>
大学を通して
<b>5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)</b>
スイートタイプの寮をおすすめします!

## 現地情報

<b>1)留学期間中, 病気やケガをしましたか。した場合, どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院, 学内の診療所)</b>
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: _____)
<b>2)留学期間中, 学内外で問題はありましたか。あった場合, 誰に相談しましたか。(例: 留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)</b>
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等: _____)
<b>3)現地の危険地域情報をどのように収集し, どのような防犯対策をしましたか。また, 実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?</b>
日本領事館からのメール
<b>4)携帯電話や, インターネットについて, 現地での利用・接続はいかがでしたか。(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので, 寮で使用できない時はカフェに行った。)</b>
キャンパス内では特に Wi-fi の心配はいらなかった
<b>5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また, クレジットカードも併用していた。)</b>
主にクレジットカードを使っていたが, 現地で銀行を開設している留学生も多く, 比較的簡単そうだった
<b>6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。</b>
コンタクトレンズ
<b>7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法, 支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った, 現地で開設した銀行のチェックで支払った。)</b>

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
25 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) ・履修の制限はありましたか？ 1 学期 12 単位は必須	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付して下さい。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Asian Americans	
科目設置学部・研究科	Asian Studies
履修期間	8～12 月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義&ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Nathen Clerici
授業内容	アジア系アメリカ人の歴史などを学びながら、現代のアジア人差別などについて学ぶ。
試験・課題など	中間試験と期末試験、Final Paper と Final Presentation。講義ごとに Reading の課題が出される。
感想を自由記入	日本で生活する中で自分がアジア人であると強く意識したことはあまりなかったが、この授業では「アジア人」であることについて深く考えさせられた。歴史など自分の知らないことも知ることができ面白かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
East Asian Popular Media and Culture	
科目設置学部・研究科	Asian Studies
履修期間	8～12 月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義&ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Yongli Li
授業内容	東アジアのポップカルチャーやその歴史的背景、アメリカへの影響などを学ぶ。
試験・課題など	講義ごとの Reading と 2～3 週間に一回ある小テスト、期末試験と Final Paper, Final Presentation
感想を自由記入	期末のプロジェクト(Final Paper と Final Presentation)では K-POP の好きなグループについて語ることができ良かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intro to Women's Gender, and Sexuality Studies			
科目設置学部・研究科	Women's Gender, and Sexuality, Studies		
履修期間	8～12月		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義&ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が2回		
担当教授	Jessica N. Pabon		
授業内容	ジェンダー学のイントロとなるような講義。ジェンダー差別を中心に現代社会の問題を人種、経済、メンタルヘルス、歴史、障がいなど様々な観点から学ぶ。		
試験・課題など	毎回のReadingに加え、月に一回ほど動画をあげるタイプの課題が出される。Final Projectとショートエッセイ。		
感想を自由記入	秋学期にとった授業の中で一番好きだった。課題もユニークなものが多く、授業内容を自分の身の回りにどう落とし込むのかというところを問われていた気がした。視野が広がった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Performing Feminism			
科目設置学部・研究科	Women's Gender, Sexuality, and Sex Studies		
履修期間	8～12月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義&ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Janet Werther		
授業内容	演劇やダンスなどのパフォーマンスの中にあるフェミニズムの要素について学ぶ。		
試験・課題など	講義ごとに指定されたパフォーマンスを視聴。Final Project。		
感想を自由記入	演劇などに対する知識が全くなかったため、少し退屈な部分もあったが、教授が優しく全体的に良かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intro to Black Studies			
科目設置学部・研究科	Black Studies		
履修期間	1～5月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義&ディスカッション(オンライン)(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Cruz Caridad Bueno		
授業内容	様々な学問(政治学、心理学、経済学、文学 etc)は全て白人の視点であるということから、アフリカ系アメリカ人の観点からそのような学問を学び直す講義。		
試験・課題など	週単位でReadingとドキュメンタリーの視聴とその感想、小テストがある。期末試験。		
感想を自由記入	日本にいた際は黒人差別と聞いてもピンと来ない部分があったため、本当にとって良かった授業だと思った。また、黒人差別や植民地の歴史を通して、日本の歴史問題、社会問題などについても考えるきっかけになった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Women in Politics	
科目設置学部・研究科	Political Science
履修期間	1～5月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義&ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が1回
担当教授	KT Tobin/ Kathleen Dowley
授業内容	なぜ女性政治家は少ないのか?というテーマを様々な観点から見つめる。また生徒一人ひとりが世界格口の中から一人女性政治家を選び、その政治家をモデルとしなぜ女性が選挙に出馬することが難しいのかということを一学期通して個々に学んだ。
試験・課題など	毎週の Reading の課題とその要点をまとめた Writing の課題。中間試験、Final Paper, Final Presentation と期末試験。
感想を自由記入	女性政治家はなぜ少ないのか、という問に対して様々な視点から答えを導くことが楽しかった。ジェンダーや政治に興味がある人に特におすすめしたい。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Contemporary Moral Issues	
科目設置学部・研究科	
履修期間	1～5月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義&ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Dan Werner
授業内容	現代社会の問題を哲学の観点からディスカッション。
試験・課題など	毎回の Reading とそれに対する感想。3つのショートエッセイがあり期末試験はなし。
感想を自由記入	個人的に哲学は日本語でも難しいため、英語で余計難しかった。けれど哲学の古典を使って現代社会の問題を倫理的観点から考察するのは面白かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Women and Pop Culture	
科目設置学部・研究科	Women's Gender, Sexuality, and Sex Studies
履修期間	1～5月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義&ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Robyn Sheridan
授業内容	ポップカルチャーとフェミニズムの勉強。またフェミニズムに止まらず、ポップカルチャーに潜む現代社会の問題やポップカルチャーと自分の関係性などについても議論する。
試験・課題など	期末試験と同時に、不定期に課題が出された。
感想を自由記入	教授が素敵で楽しかった。ポップカルチャーがテーマなのでわかりやすいし、身近な問題だからこそ考えることも多かった。現地の学生にも人気の講義らしい。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など

3)就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)  
※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。  
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)  
※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。



### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	TOEFL 勉強
	8月～9月	TOEFL 勉強
	10月～12月	学内選考
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	留学準備
	8月～9月	渡航
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

### 留学体験記

この留学先を選んだ理由, 留学生生活全般について, 留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

国際政治やジェンダー学に強い、また多様性のある大学でニューヨークシティにも比較的近いという条件からこの大学を選びました。2021年夏はまだコロナ禍であり、例年と比較すると留学生の数が少なかったそうですが、それでも各国の学生と交流できて良かったです。また、現地の学生とは、やはり共通の趣味があると仲良くなるのが早かったです。私の場合は K-POP ですが、色々な学生がいて自分がやる気になれば様々な交流の機会があるため、仲良くなれる現地の学生はみなさんきつっているのではないかと思います。また、冬休みや春休みの長期休暇には留学生の友人と LA などに旅行に行きましたが、飛行機代や宿代などお金がすごくかかります。私は給付型の奨学金があったので良かったです。そうでなかったら厳しかったなと思います。やはり現地は物価が高かったりするので、お金はよく貯めておくといいかと思います。帰国したばかりですが、もう一回戻りたいと毎日思うくらい充実していたのは、やっぱり友人など環境のおかげだと思います。留学で何をしたいかにもよりますが、個人的にはすごくおすすめの留学先です。